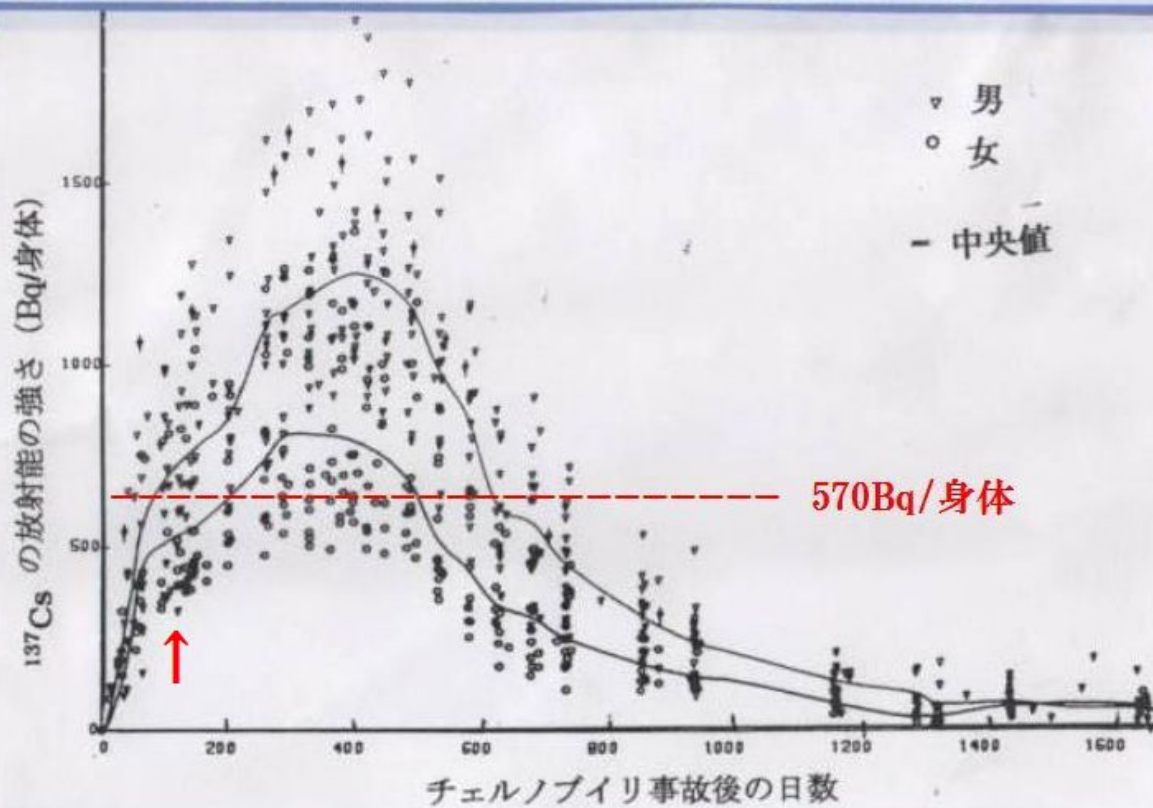


# チェルノブイリ事故後のセシウム-137 の体内摂取量の時間変化



被ばく直後から4年半、ブタペストの成人市民にホールボディカウンタでセシウム測定、約1年後に最大値(男1,200Bq, 女800Bq)に達し  
3年後にはムシできる程度に減少(半減期は30年) (近藤、1993)

A 般

<http://www.nfri.affrc.go.jp/topics/pdf/sympo2.pdf> 食品安全委員会資料より

平成23年度第3回福島県「県民健康管理調査」検討委員会 次第

日 時：平成23年7月24日(日)13:30~15:30

場 所：福島県本庁舎2階 第1特別委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- (1) ホールボディカウンターと尿（内部被ばく）検査結果について
- (2) 「県民健康管理調査」の基本調査について
- (3) 「県民健康管理調査」の詳細調査について
- (4) 平成23年度県民健康管理調査まとめ
- (5) その他

4 閉会

福島県「県民健康管理調査」検討委員会委員名簿

平成23年7月24日

○ 委 員

(敬称略)

氏 名	現 職
明 石 真 言	独立行政法人放射線医学総合研究所理事
児 玉 和 紀	財団法人放射線影響研究所主席研究員
神 谷 研 二	国立大学法人広島大学原爆放射線医科学研究所所長・教授 (公立大学法人福島県立医科大学副学長) (福島県放射線健康リスク管理アドバイザー)
山 下 俊 一	公立大学法人福島県立医科大学副学長 (福島県放射線健康リスク管理アドバイザー)
星 北 斗	社団法人福島県医師会常任理事
阿 部 正 文	公立大学法人福島県立医科大学理事兼副学長 (医学部病理病態診断学講座主任 (教授))
安 村 誠 司	公立大学法人福島県立医科大学医学部 公衆衛生学講座主任 (教授)
佐 藤 節 夫	福島県保健福祉部長

○ オブザーバー

氏 名	現 職
西 本 淳 哉	内閣府原子力災害対策本部 原子力被災者生活支援チーム審議官 経済産業省大臣官房 技術総括審議官
伊 藤 宗太郎	文部科学省 科学技術政策研究所総務研究官 (EOC医療班 班長)
塚 原 太 郎	厚生労働省大臣官房厚生科学課長
鈴 木 眞 一	公立大学法人福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座教授

# 放射線医学総合研究所における 内部被ばく調査について

放射線医学総合研究所

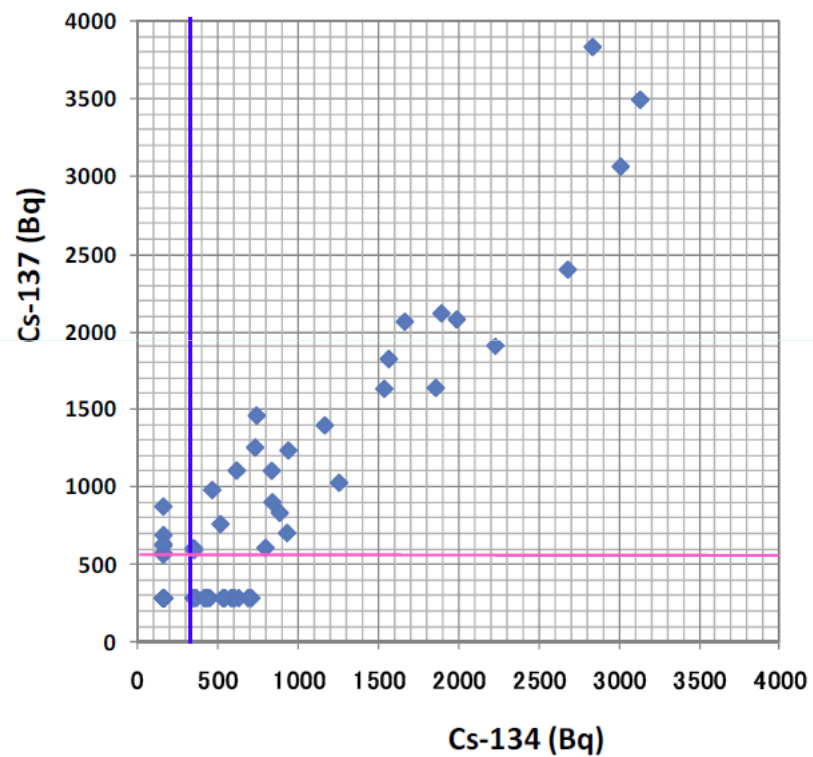
## 放射性核種の検出

	4-7歳		8-12歳		13-17歳		18歳以上		計(人)	
	検出限界以上	人数	検出限界以上	人数	検出限界以上	人数	検出限界以上	人数	検出限界以上	人数
I-131	0	9	0	14	0	6	0	80	0	109
Cs-134	2		6		2		42		52	
Cs-137	0		0		0		32		32	
Cs-134/137	0		0		0		26		26	

(検出限界 I-131: 38 Bq、Cs-134: 320Bq、Cs-137: 570Bq)

(7月10日まで)

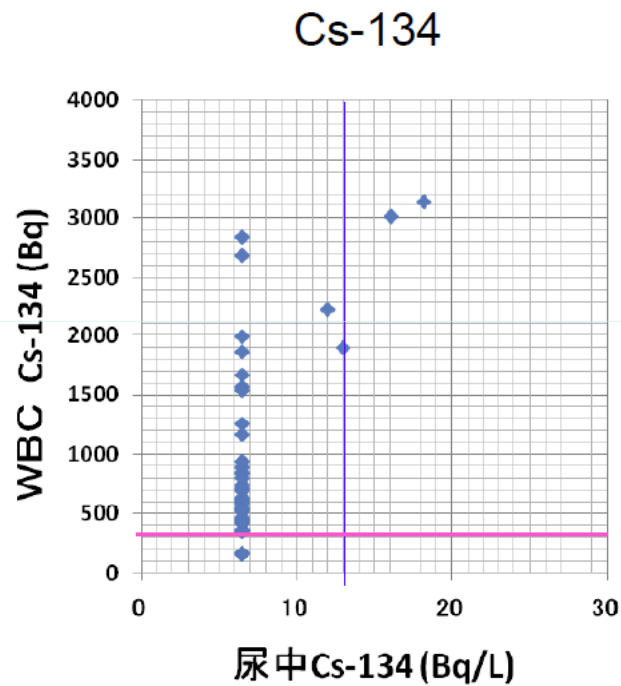
## WBCにおけるCs-134とCs-137 (成人)



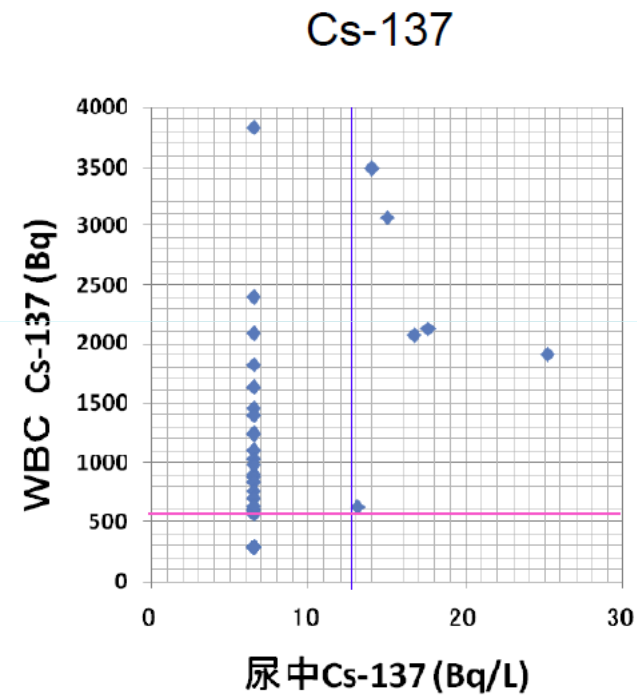
Cs-134: 検出限界320Bq(青線)未満は160Bqとした  
Cs-137: 検出限界570Bq(赤線)未満は285Bqとした

3

# WBCと尿からのCs-134とCs-137 (成人)



尿: 検出限界13Bq/L (青線) 未満は6.5Bq/Lとした  
WBC: 検出限界320Bq (赤線) 未満は160Bqとした



尿: 検出限界13Bq/L (青線) 未満は6.5Bq/Lとした  
WBC: 検出限界570Bq (赤線) 未満は285Bqとした